

令和7年度 新体力テストの結果について

1 今年度の体力テストの結果

【昨年度平均値の県との比較】 ○：上回る △：同じ ▼：下回る

	握力		上体 起こし		長座 体前屈		反復 横跳び		20m シャトルラン		50m走		立ち 幅跳び		ボール投げ	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1年生	▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	△	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	▼
2年生	▼	△	○	△	▼	▼	▼	△	▼	▼	○	△	▼	▼	▼	○
3年生	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	△	▼	▼	○	▼
4年生	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	▼	○	△	○	△	○	○	○	△
5年生	▼	▼	○	▼	▼	▼	○	▼	○	▼	○	△	○	▼	○	▼
6年生	▼	△	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	△	○

2 分析

- 96項目中、50項目は下回っているが、34項目が昨年度の県平均を上回った。
昨年度と比較し、かなり向上したといえる。

男子

- ・男子は48項目中、25項目が上回った。
- ・上体起こしはすべての学年が県平均を上回っている。
- ・反復横跳びは3～6年、20mシャトルラン・立ち幅跳びは4～6年、50mは2～5年、ボール投げは1, 3～5年が県平均を上回った。
- ・握力は、昨年度に引き続き、全学年で県平均を下回った。

女子

- ・6年生は、握力以外は全ての種目で県平均を上回った。
- ・立ち幅跳びは4, 6年生、ボール投げは2, 6年生のみ県平均を上回った。
- ・握力は、昨年度に引き続き、全学年で県平均を下回った。
- ・女子は48項目中、28項目が下回った。

- 男子の結果が、全体的に向上している。理由としては、前年度の業間休みになわとびや時間走に取り組んだり、業前運動として5分間の片足ケンケンやダッシュなど運動能力を高める運動を取り入れたりしたことが挙げられる。また、週に1回「わくわくタイム」と称して外に必ず出て運動する時間を設けたことも大きいと考えられる。
- 女子の体力に課題があることが分かった。原因としては、登校する際の距離が極端に短いことや外遊びに消極的なことが考えられる。「わくわくタイム」で外に出ても、散歩をして過ごす児童が多いので、活動するよう指導していく。

3 個々の課題解決に向けた自校の取組内容

- 業前運動として5分間の片足ケンケンやダッシュなど運動能力を高める運動を、継続して取り組んでいく。
- 週に1回「わくわくタイム」（外に必ず出て、運動する時間を設ける）を設定し、体を動かす機会を作る。また、散歩でなく、走る運動を必ず取り入れるようにする。
- 持久走の取り組みでは、100周達成した児童の名前を掲示板に掲示した。意欲的に取り組む姿が見られたため今年度も実施していく。